

〔履歴書の記入について〕

1) 年齢・国籍の項目の記入について

- ① 年齢は、書類作成時点の満年齢を記入してください。
- ② 国籍欄は外国籍を持つ方のみ国名を記入し、日本国籍の方は空欄のままにしてください。

2) 学歴の項目の記入について

- ① 大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する方は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の方は最終学歴について記入してください。  
なお、記入にあたっては卒業証書、修了証書等を確認し、大学の学部、学科、課程、専攻、コースならびに大学院研究科の課程、専攻、コースおよび学位の種類について正確に記入してください。
- ② 中途退学であっても省略せず、記入してください。
- ③ 博士課程を終えた時点で博士号を取得していない場合の学歴は、「博士課程所定単位修得退学」と記入してください（「満期退学」の表現は用いない）。
- ④ 外国での取得学歴については、原語を併記し正確に記入してください。
- ⑤ 学生としての外国留学については、学歴欄に記入してください。
- ⑥ 大学の別科、専攻科については学歴欄に記入してください。

【例】

学 歴				
和 暦 年 (西 暦) 月		事 項		
平成〇〇年 (19××) 〇月		〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業		
平成〇〇年 (19××) 〇月		〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 修士課程修了 (〇〇学修士)		
平成〇〇年 (20××) 〇月		〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士課程所定単位修得退学		
平成〇〇年 (20××) 〇月		〇〇大学で博士の学位授与 (〇博乙第〇号) ※学位欄は (〇〇学博士 〇〇大学)		
学 位	学位の種類	博士 (〇〇学)		学 位 論 文 題 目
	授与機関	〇〇大学 (〇博乙第〇号)		
	授与年月日 (西暦)	平成〇年 〇月 〇日 (20××)		

新制度の学位規則（平成3年7月1日施行）により、学位名を記載してください。

※注1：博士後期課程の修了（又は学位規則の年限内）に、同大学院で博士学位を授与された場合の例（課程博士）

事 項
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士後期課程修了 博士の学位授与（経博甲第〇号） ※学位欄は「博士（〇〇学）」

※注2：修士年限未済で退学した場合の例

事 項
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 〇〇課程中途退学

※注3：旧制大学院の場合

事 由
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修了（旧制）

3) 学会および社会における活動等の項目の記入について

- ① 専攻・研究分野等に関連した事項についてのみ記入してください。
- ② 所属学会・協会は、正確に記入してください。
- ③ 大学教員の方は、所属する大学の委員は除いて、記入例を参照のうえ、公的な審議会、委員会、懇談会等の主たる委員会委員について記入してください。

【例】

期 間	事 項
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月 平成〇〇年（ ）〇月～	〇〇記念会理事 〇〇学会会員（現在に至る）
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇学会理事・評議員
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇協会〇〇審議会審査委員長
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇学会〇〇部会〇〇委員長
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	東京都〇〇審議会委員

4) 職歴の項目の記入について

- ① 職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。なお、各職歴については、始期および終期が明確になるように記入し、現職については、必ず「現在に至る」と明記してください。
- ② 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合は、職歴欄に審査の年月、当該教員組織審査に係る大学名、学部名は大学院研究科名、職名（専任、兼任、兼任の別）および担当授業科目名（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入してください。
- ③ 担当科目に直接関係ある職歴については、職名・地位等できる限り具体的に記入してください。
- ④ 大学院の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
- ⑤ 研究者としての外国留学については、職歴欄に記入してください。
- ⑥ 研究生、副手、聴講生などは、職歴欄に記入してください。非常勤の経歴については、適宜ご記入ください。

【例】

期 間	事 項
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇大学〇〇学部副手
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇大学〇〇学部助手
平成〇〇年（ ）〇月	同 大学退職
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇研究所嘱託研究員
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	〇〇大学助教授（〇〇原論担当）
平成〇〇年（ ）〇月～平成〇〇年（ ）〇月	同 大学教授（〇〇原論・前期、〇〇学史・後期担当）
平成〇〇年（ ）〇月	〇〇大学〇〇学部教授（兼任）（〇〇論、△△概論）
平成〇〇年（ ）〇月	同 大学退職
平成〇〇年（ ）〇月～	〇〇大学〇〇学部教授（〇〇学担当）、大学院〇〇研究科〇〇専攻（〇〇論担当）（現在に至る）
平成〇〇年（ ）〇月	西ドイツ〇〇大学留学（1年間）
平成〇〇年（ ）〇月～	〇〇大学〇〇学部非常勤講師（〇〇論担当）（現在に至る）
平成〇〇年（ ）〇月～	〇〇研究科・科長（現在に至る）

5) 賞罰の項目の記入について

【例】

平成〇〇年（ ）〇月 平成〇〇年（ ）〇月	〇〇学会賞（〇〇特別賞）受賞「〇〇〇〇〇〇〇〇研究の業績」 第10回〇〇協会論文賞受賞「〇〇〇〇〇〇〇〇〇」 罰なし （賞罰共になし）
--------------------------	--

〔教育研究業績書の記入について〕

1) 著書・学術論文等の名称欄の記入について

- ① 研究業績は、過去7年間のものを中心に、「著書」、「学術論文」および「その他」（〈翻訳〉、〈教科書〉、〈学会発表〉、〈その他〉）に区分のうえ、その主要なものについてそれぞれ別紙に、当該の小見出しを記入するとともに、その区分ごとに発行年月日の新しいものから順に番号を付して記入してください。
- ② 業績が多数にわたる場合には、今回の担当授業科目に関する業績数点に限定してください。

- ③ 学会誌等に発表した場合には、その名称と併せて、巻・号・頁についても記入してください。
- ④ 記入年および翌年に発表または発刊が予定されているものについては、その旨を明記し、出版証明書を添付してください。なお、いわゆる投稿予定のものは含みません。
- ⑤ 以上の記入に際しては、自己の研究分野および今回ご担当いただく授業科目に関連して、主要なものについては、左端欄外に「主」と記入してください。
- ⑥ 教育研究業績書に記入した著書等のうち、最近のもの、ないし主要なもの1～2編について、その「概要」を別紙の所定用紙に200字程度で記入してください。その記入要領は「概要」の項をご参照ください。

2) 単・共著の別欄の記入について

著書・学術論文等の区分に応じて、その用語を次のとおり統一定義します。この区分にしたがって記入してください。

- ① 「著書」および「学術論文」については、「単著」か「共著」のいずれかとします。監修、単編者、共訳者等については、別紙の概要記入用紙に明記してください。
- ② 「翻訳」については、「単独」か「共訳」のいずれかとします。
- ③ 「学会発表」については、「単独」か「共同」のいずれかとします。
- ④ 「書評、教科書、上記以外の業績」については、「単著」「単独」か「共訳」「共同」のいずれかとします。

3) 発行所、発行雑誌等または発表学会等の名称欄の記入について

- ① 「学術論文(学位論文を除く)」および学術雑誌等に発表された「翻訳」の場合は、当該の発表雑誌等の誌名のほか、発行年月、巻・号・頁まで必ず記入してください。
- ② 「学位論文」については、学位を授与された大学名を記入してください。
- ③ 「学会発表」の場合は、学会名および大会名、開催場所等を次のように記入してください。  
※○○学会第○○回大会 (於 ○○大学)

〔記入例〕

1) 「著書」について

「著書」については、1冊の本を単独で執筆した場合だけでなく、2人以上で執筆した場合も、担当執筆頁数の多寡にかかわらず「著書」として記入してください。この場合、当該部分は単著であっても共著としてください。担当執筆部分の名称は「概要」に記入してください。なお、その本がシリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合は、表題の下欄に( )書きで、シリーズ名および当該の巻数を付記してください。実際の記入例を次に示します。

また、その本が論文集のような場合、ご本人の判断により、学術論文の項に分類・記入して下さっても結構です。

【著書記入例】

教育研究業績書				
概要 No.	発行年月 (新しい順) 和暦 年(西暦) 月	著書名	単・共著の別	発行所
1	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇	単著	〇〇社
2	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	共著	〇〇社
3	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇	共著	〇〇社

別紙の概要No.と合わせる

2) 「学術論文」について

「学術論文」については、論文集、学会雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に「学術論文」として発表したものを原則として記入してください。

学位論文が単行本として刊行されているものであっても、「著書」の区分には入れず、必ず「学術論文」の区分に入れ、当該論文の題名の下段に(博士論文)または(修士論文)と明記してください。

【学術論文記入例】

教育研究業績書				
概要 No.	発行年月 (新しい順) 和暦 年(西暦) 月	学術論文題目	単・共 著の別	発表雑誌・学会誌等の名称 巻・号・頁
1	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇〇 (博士論文)	単著	〇〇社
2	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	共著	〇〇学会学術講演〇〇集
3	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇	共著	〇〇大学〇〇雑誌 (紀要) 〇巻〇号〇—〇頁
4	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇—〇〇〇〇〇〇—	単著	〇〇研究所報 Vol. 1 〇巻〇号〇—〇頁

別紙の概要No.と合わせる

3) 「その他」の業績について

- ① 「翻訳」については、学術的に価値ある「翻訳」についてのみ記入してください。なお、「その他」欄には、まず原著者または編集者名をカタカナで表記し、次に邦訳の表題を記入してください。原著名の記入を要する場合はその後に記入してください。
- ② 「学会発表」については、学会（国際・全国レベル）における口頭発表および要旨発表等を記入してください。
- ③ 上記以外の業績については、「書評」、「資料紹介」、「学会情報」、「解題」、「調査報告」、「研究情報」等および芸術分野における制作、展覧会出品、個展等について、それぞれ記入してください。

【その他の業績記入例】

教育研究業績書				
概要 No.	発行年月 (新しい順) 和暦 年(西暦) 月	その他	単・共 著の別	発表媒体・発表学会等の名称 巻・号・頁
1	[翻訳] 平成〇年 ( ) 月	原著者：〇〇〇〇〇、邦訳題「〇〇〇〇〇」 (原著名「〇〇〇〇〇」)	単独	〇〇社
2	[学会発表] 平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	単独	〇〇学会〇〇大会 (於 〇〇大学)
3	平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇—〇〇〇〇〇〇〇—	共同	〇〇学会〇〇大会 (於 〇〇大学)
4	[書評] 平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇	単独	
5	[制作] 平成〇年 ( ) 月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	共同	

別紙の概要No.と合わせる

- 4) 「研究業績書」他、用紙が足りない場合は、恐縮ですが用紙を必要分コピーしてご記入ください。
- 5) 作成した書類は、校正等の必要もありますので、念のため一部複写し、お手元に保管しておいてください。

〔教育研究業績の「概要」の記入について〕

【記入例】

著書（単著・共著・編著）・学術論文（同）・その他の区分		著書等の区分を記入 (区分ごとに用紙を分けてください)
概要No.	著書・学術論文等の名称	教育研究業績書「概要」欄 (200字程度)
1	○○○○○○ (単著)	○○学の体系的な概説書である。○○○について分析・解明し、○○に理念付け、体系化したものを……………  ……………について論述した。
	共同執筆者がある場合、執筆者本人を含め全氏名を当該著書に記載した順（執筆順）に記す。ただし、辞典の場合は代表者名（監修者名、責任編集者名）のみ記載する	○○○についての研究である。……………  ……………について論述したもの。 B5版、全332頁中、担当：「○○○の分析」（250～280頁） 共著者：○○ ○○、○○ ○○○、若木 太郎、○○ ○○。
3	共同執筆者がある場合、本人の担当部分を「○～○頁」と記入する。ただし、本人の担当部分を明確に特定できない場合は、「共同研究につき担当部分抽出不可能」と記入する	○○○についての実験研究発表である。……………  ……………に及ぼす影響を明らかにした。 (平成○年度科学研究費○○研究) A4版、全文160頁、共著者：若木 太郎、○○ ○○○ ○○、○○ ○○○。共同実験研究につき、本人担当部分抽出不可能。

※本人が研究指導責任者、編集責任者等になった場合は、その旨を本人の氏名の後に（ ）書きで記入してください。新聞発表の場合は、総字数を、テレビ、ラジオの場合は総時間数を記入してください。

「概要」の記入については、ご記入いただいた概要そのものが、教員審査実施の際の主要資料として扱われますので、次の点に特にご注意ください。

- ① 所定の用紙に、教育研究業績書に記入した番号と著書等の名称を付して、一点ごとに200字程度で記入してください。文字数は、担当される授業科目および講義の内容との関連を十分ご考慮いただき、200字にできるかぎり近づけてご記入ください。
- ② 共著の場合は、自己の担当部分を明記し、著作者全員（本人の氏名を含む）の氏名を、当該の著書や学術論文等へ発表した順に記入してください。この場合の「単著・共著の別」については「共」と記入し、自己の執筆部分がどのページであるかを記入してください。また、自己の担当部分を明確に特定できない場合は、その理由を明記してください。